



子どもが本気で取り組む単元づくりをしよう！

あいざわあきひろ
鎌倉女子大学准教授 相澤昭宏

材の選定のポイントは何ですか？

■材の価値を見極めよう！

その材を取り上げて単元化したとき、どんな学びが生まれるのか、以下の視点から材や活動を検討するとよいでしょう。

「活動的価値」

- ・子どもにとって活動自体に魅力があるか。
- ・体験を通した問題解決ができるか。
調べ学習やインターネットで問題解決するのではなく、実際に自分たちが試行錯誤したり繰り返して活動したりしながら、よりよい解決法を見つけていくことができるか。
- ・子どもの追求に耐えられるか（学びの広がりや深まりの可能性はあるか）。

「内容的価値」

- ・材の向こうに何が見えるか（子どもは何を学ぶのか）。
- ・学校や地域ならではの特色があるか（この学校だからその価値・このまちで実践するとどんな学びになるのか）。
例）長野県の学校でそばを材にするのと横浜でそばを材にするのでは、学べる内容が違う。
- ・まち、自分の生活との関係を考えられるか（自分ごと、切実感、問題場面の有無）。

「社会的価値」

- ・本物志向か（「ごっこ」や「まねごと」ではなく、子どもならではの本物）。
- ・子どもの必要感に応じて関わってくれる「人」はいるか。
- ・時代と社会背景、学校の状況をとらえているか。
- ・子どもが本気で活動すると今日的課題につながるか（「環境問題に取り組もう」では子どもは動かない）。

■その他

- ・学年（相応のクオリティを考慮）
- ・経費（予算、教育系論文への応募、企業や行政とのコラボ等）
- ・行政や民間のコンテンツの利用の可能性
- ・時間数〔物語（単元）が完結するか。成就感が味わえるか。〕

材を決定したらどうしますか？

■単元を構想しましょう！

- ・子どもの活動を入れたウェビングをしましょう。（学習指導要領 総合的な学習の時間 解説 第6章参照）
- ・単元構想とは単元計画ではなく、単元の入り口から出口までの物語を描きましょう。
- ・各小単元は活動を書くのではなく、「問題解決活動のひとまとまり」にしましょう。
- ・まずは、単元構想を図などに表してみましょう。



相澤昭宏

横浜市小学校教諭、同市教育委員会指導主事、同市小学校校長を経て2021年より現職。
光村図書「せいかつ」教科書編集委員。
「小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 総合的な学習の時間編」の作成協力者。
『教育課程実践講座 総合的な学習の時間(小学校編・中学校編)』（共著・ぎょうせい）など著書多数。